

## 広島県庄原市で採集したチャイロスズメバチの記録

皆木 宏明\*

### Note *Vespa dybowskii* Andre of Shobara City on Hiroshima Pref.

Kohmei Minagi

チャイロスズメバチ *Vespa dybowskii* は、国内では北海道、本州に分布するハチ目スズメバチ科の仲間である。体長は2-3cmほどの中型のスズメバチであるが、体色が他のスズメバチと著しく異なり、全身が茶褐色で目立った斑紋がないことから、他種との区別は容易である。また生態も特異的であり、同じスズメバチ科の仲間であるモンズメバチ *Vespa crabro* やキイロスズメバチ *Vespa simillima* の巣を乗っ取る社会寄生性の習性を持つ(松浦, 1988)。

かつては東日本(北海道, 東北, 関東と中部地方以北)の山地の森林に生息する北方系の種類と考えられていたが(松浦, 1988), 近年西日本での確認記録が相次いでおり, 中国地方でも岡山県(加藤ら, 2009)や鳥取県(佐藤, 2006; 加藤ら, 2009; 野津, 2010)で記録されている。これまでの国内の分布西限記録は, 2010年9月に確認された鳥取県西伯郡大山町(大山三ノ沢)である(野津, 2010)。今回, これまで記録のなかった広島県において本種を確認し, 新たな分布西限の記録となるため報告する。

確認した場所は, 広島県北東部に位置する広島県庄原市西条町熊野にある熊野神社の境内である(図1)。境内には県の天然記念物に指定されている大きなスギ *Cryptomeria japonica* の並木があり, そのうちの1本の幹にチャイロスズメバチ1個体が止まっていた(図2)。周囲を探してみたが, 他の個体や巣を見つけることはできなかった。

なお, 確認した個体は採集の後標本化し, 三瓶自然館で保管している。

#### 〈確認記録〉

種名	チャイロスズメバチ	<i>Vespa dybowskii</i>
確認数	1個体	
確認日	2013年11月22日	
確認場所	広島県庄原市西城町熊野	熊野神社境内
標高	717m	

本種が近年西日本に分布を広げている理由として, これまで主にモンズメバチを寄生相手としていた

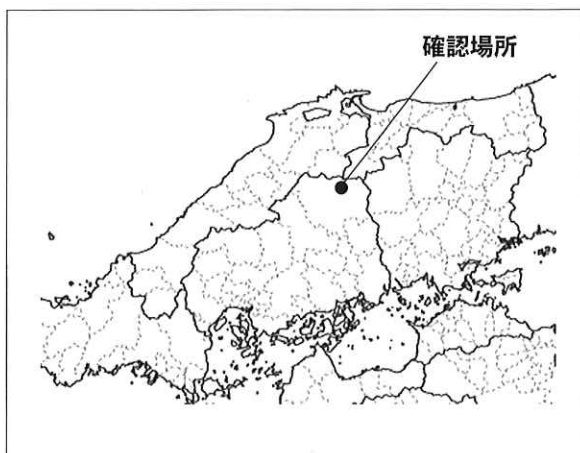


図1 確認場所



図2 広島県で確認したチャイロスズメバチ

\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

が、新たにキイロスズメバチに寄主相手を広げたことで西日本に分布を拡大したと考えられている(佐山, 2012)。モンズズメバチは、環境省レッドリスト(2012)で情報不足にランクされる生息状況が懸念される種となっており、普通種とされるキイロスズメバチに寄主転換することで、分布を西日本に広げている可能性がある。

本記録は、これまでの既存の報告の中では国内でも西限の記録となる。確認した地点は、鳥取県や広島県の県境からそれぞれ直線で約10km、島根県境からは南に直線で約5kmしか離れていない。本種はこれまで島根県内では確認されていないが、近年西日本に分布を広げていることから、さらに西部に分布を拡大する可能性もあり今後の動向に注目していく必要があるだろう。

## 引用文献

- 加藤 学・片岡博行・岩井貴志・瀬島翔馬・奥島雄一(2009) 岡山県でのチャイロスズメバチの分布と生態記録—西日本の分布情報を含めて—, 倉敷市立自然史博物館研究報告 24.P.35-42
- 環境省(2012) 環境省第4次レッドリスト(昆虫類)
- 松浦 誠(1988) スズメバチはなぜ刺すか. 北海道大学図書刊行会.P.291
- 野津幸夫(2010) 伯耆大山でチャイロスズメバチを撮影, ゆらぎあ(28):8-9.
- 佐藤隆士(2006) チャイロスズメバチの鳥取県からの記録. 月刊むし(430) 28-30.
- 佐山勝彦(2012) チャイロスズメバチにおける分布域拡大と個体数増加の状況. 日本昆虫学会第72回大会講演要旨. pp.83. 玉川大学, 町田.